学校番号	３０８

令和８年度　理科

教科	理科	科目	地学基礎	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	地学基礎（啓林館）						
副教材等	地学基礎の基本マスター（啓林館）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

宇宙誕生から現在までの、空間的広がり、時間的流れを軸に、生命と地球環境の関連を考えていくという、壮大な学問です。また近年、地震や火山、などの自然災害についても感心が高まっています。手の届かない、また、肉眼では観察できない対象物を様々な手法で、紐解きます。数学などの確かな基礎力と、豊かな想像力も必要です。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境について理解する

【思考力、判断力、表現力等】
観察，実験などに関する基本的な技能を身に付け，科学的に探究する力を養う

【学びに向かう力、人間性等】
地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度と，自然環境の保全に寄与する態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	宇宙や地球における自然現象について、基本的な概念や原理･原則を理解し、知識を身に付けている	宇宙や地球における自然現象の中に問題を見いだし、探究する課程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを適切に表現している。	日常生活や社会との関連を図りながら宇宙や地球における自然現象の関係に関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身に付けている

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	固体地球とその活動	地球の概観 地球の内部構造 プレートテクトニクスと地球の活動 地震 火山活動と火成岩の形成	a:現在の地球の姿や活動について、理解する。 b: 日本列島の形成と自然現象を関連づけて思考できるようにする。 c: 日本の自然災害（地震・火山）ついて関心をもち、意欲的に探究しようとする。	定期考査	定期考査 ワーク	授業プリント 観察・実験 探究活動 小テスト
	大気と海洋	大気の構造（大気圏） 地球のエネルギー収支 大気・海洋の大循環 日本の天気	a:大気の構造について理解する b:エネルギー収支から、地球の未来を考えたときに、現在の何が問題点になるのか、思考できる。 c:日々の気象について、観察ができる	定期考査	定期考査 ワーク	授業プリント 観察・実験 探究活動 小テスト
2学期	移り変わる地球	宇宙の誕生 太陽系の誕生 地球と生命の進化 地球史の読み方	a: 宇宙の始まり以降、時系列で空間的広がり（構造）に関心を持ち、意欲的に探究しようとする b: 太陽系（太陽・地球）の未来について、科学的根拠に基づき、思考する c: 高価な観測機器を使用せずとも、身近な自然現象を観察できる。	定期考査	定期考査 ワーク	授業プリント 観察・実験 探究活動 小テスト
3学期	自然との共生	地球環境と人類 地震災害・火山災害 気象災害 人間生活と地球環境の変化	a: 地球の未来や環境問題について、理解する。 b　地震による災害について、具体的な対策について考えることができる C 防災について、自らの社会的役割について、自覚を持つ	定期考査	定期考査 ワーク	授業プリント 観察・実験 探究活動 小テスト

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度